

平成17年度予算概要

平成17年度予算策定に当たっては、行財政改革を積極的に推進して市財政の健全化を図り、限られた財源を、より緊急性、必要性の高い事業に優先的に配分することで、政策課題に的確に対応することとしました。

中小企業対策の拡充や子育て・少子化対策の拡充など、きめ細かな政策に配慮するとともに、これまで以上にメリハリを付け、市民生活の充実と活力あるまちづくりを重点政策としました。

この基本方針のもとに編成した当初予算は、一般会計が108億2736万3千円で前年度比12.6%の減となり、極めて緊縮型の予算となっています。下水道事業や老人保健等の特別会計と下水道の企業会計を含めた全体の予算規模でも、223億2865万2千円と前年度比4.2%の減となっています。

一般会計の概要

一般会計では、約15億6500万円の大幅な減額となっていますが、その大きな要因は前年度において計上されていた福祉健康センター「すこやか」建設費や、広域ごみ処理施設建設負担金、平成7年度借入減税補てん債の一括償還など、多額の経費を要する事業が無くなったことやシーリングにより抑制したものです。

一般会計の歳入は法人市民税の伸び、全ての項目で前年度当初予算に比べ、減額となっています。

主要な事業の概要

福祉健康部門

福祉・健康部門では、「地域福祉計画」を策定するとともに、ひとり暮らし高齢者対策検討委員会を設置し、ひとり暮らし高齢者のケアの充実を図ることとしています。また、子育て支援対策としては、乳幼児医療費支給事業の対象年齢を4歳児までに拡大することとしたほか、「子育て生活応援隊事業」、「休日保育事業」、「母子父子家庭高校授業料助成事業」などを新規事業として取り組むこととしており、「ふれあいの里・かつやまっ子」すくすく育成奨励金事業は、2月に実施したアンケートの結果、事業を継続して、さらに時間をかけて事業評価を行うこととしました。

エコミュージアム推進関連事業

エコミュージアム推進関連事業としては、「勝山の遺産」映像記録保存事業、「勝山市の近代化遺産と町家・町並み調査事業」などを継続・推進していくほか、「わがまちげんき発掘事業」の新たな展開として、「わがまちげんき創造事業」を実施していきます。

教育委員会関係

教育環境整備においては、「小学校・生活アドバイザー推進事業」や

などにより、僅かではありますが全体で数年ぶりに前年度当初予算を上回ることになりました。また、地方譲与税、普通地方交付税でも増額を見込んでいます。このことにより、主要な一般財源である市税と地方交付税、臨時財政対策債の合計で、前年度当初予算額を確保しました。

一方、大型プロジェクト事業が無くなったことにより、国・県支出金および市債が大きく減額となり、市債については前年度に比べ、56.2%減の8億4150万円となっています。

性質別予算の内訳

性質別に見ますと、義務的経費では扶助費が6.7%伸びているものの、人件費と公債費の減により、全体では前年度比4.1%の減となっています。投資的経費では、「すこやか」建設事業費の減などにより、52.8%の大幅減となっています。今年度の建設事業の主なものとしては、継続事業として取り組んでいます「まちづくり交付金事業」や「森林居住環境整備事業」、「地方道路交付金事業」などであり、その他の経費では、物件費を始め、

「いきいき学習サポート事業」、「少人数学習支援員・活用事業」などを、単独事業として継続することとしたほか、養護学校通学費補助に係る対象通学範囲を拡大しました。

文化面では、勝山市史の「通史篇第2巻 原始から近世」の発刊を予定しています。また、平成17年度には福井県において、第20回国民文化祭・ふくい2005が開催され、当市においては「恐竜文化フェスティバル」、「IT文化フェスティバル」を展開してまいります。

体育面では、勝山を全国に発信していくスポーツイベントとして、新たに「勝山恐竜クロカンマラソン事業」を創設することとしました。

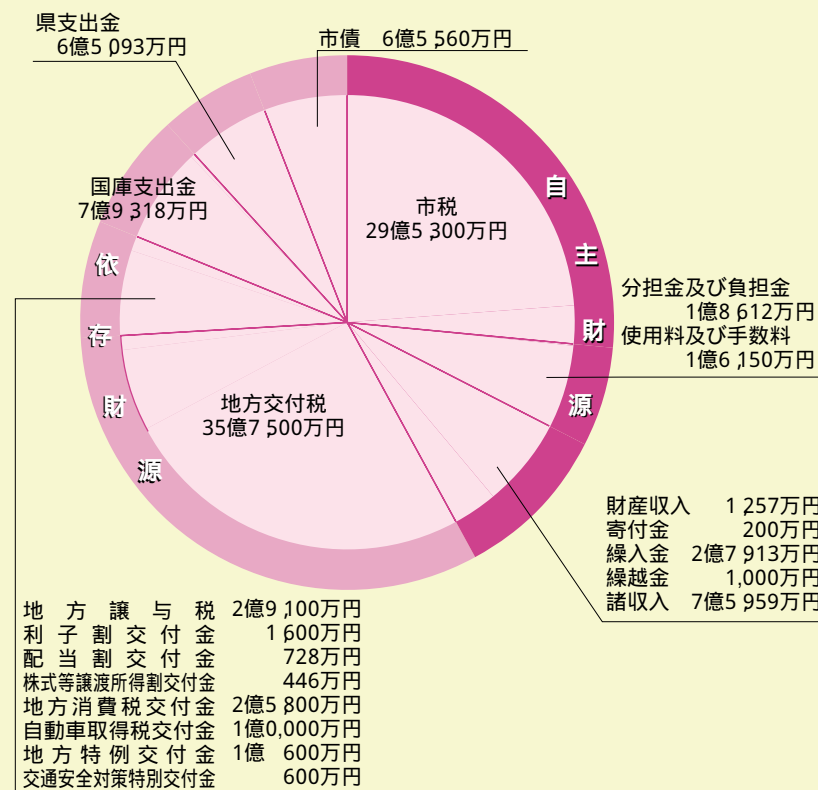
産業振興

産業面では、企業誘致対策として、新たに企業誘致プロジェクトマネージャーを配置することとしたほか、「企

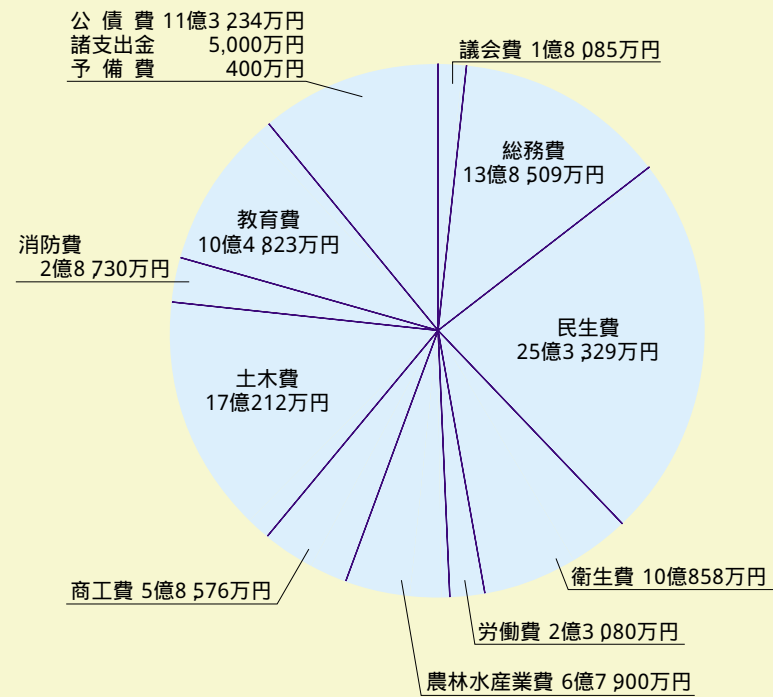


国民文化祭のプレフェスティバルとして、昨年公開された「恐竜ミュージカル」

歳入



歳出



予算総額 223億2,865万円

平成17年度予算 前年度比増減(%)

一般会計	108億2,736万円	-12.6
特別会計	108億8,487万円	5.5
企業会計	6億1,642万円	2.7
合計	223億2,865万円	-4.2

特別会計 108億8,487万円

区分	予算額	前年度比増減(%)
育英資金会計	3,745万円	-8.6
土地区画整理事業会計	0万円	-100.0
下水道事業会計	17億4,891万円	-0.9
農業集落排水事業会計	4億3,615万円	-0.9
簡易水道事業会計	6,400万円	-28.7
国民健康保険会計	25億2,404万円	16.4
老人保健会計	38億6,730万円	1.7
介護保険会計	20億8,205万円	11.0
温泉センター会計	9,645万円	-3.1
市有林造成事業会計	2,851万円	-13.8

企業会計 6億1,642万円

水道事業会計	6億1,642万円	2.7
--------	-----------	-----

一般会計 108億2,736万円